



まずは禁煙から

## たばこと喉頭癌<sup>がん</sup>

たばこががんの原因の一つであることは常識として広く浸透しています。日本ではがんによる死亡のうち、男性で40%、女性で5%はたばこが原因だと考えられています。特に肺がんは、たばこが関与するがんとしてよく知られています。耳鼻咽喉科領域のがんの中では喉頭癌とたばことの密接な関係が知られています。喉頭癌患者の95%以上は喫煙者です。そして、喉頭癌は10倍も男性に多いがんです。これもたばこの習慣が男性に多いためと考えられています。つまりたばこさえ吸わなければ喉頭癌のリスクは大幅に下げられるのです。

たばこの害を示す指標にブリックマン指数があります。これは、1日の喫煙本数に喫煙年数を掛け、その数値からがんの発生する危険度を判断するものです。この数値が600を超えるのと要注意で、1000を超える

ようだと危険といわれています。喉頭癌では早期から声枯れが症状として出てきます。このため比較的発見しやすいがんの一つとされています。喉頭癌を発見するためには内視鏡検査を行う必要がありますが、このファイバースコープは吹田市内の耳鼻咽喉科の医院、病院でいつでも受けることができ、さほど苦痛を伴う検査でもありません。

また、たとえがんが発見されても早期であれば放射線などで声をなくさずに治療できる可能性も高くなります。現在、たばこを吸っておられる方はまず禁煙です。そしてもし声枯れが続くようなら出来るだけ早く耳鼻咽喉科を受診してください。喉頭癌の場合でも早期発見、早期治療は鉄則です。

吹田市医師会

川上<sup>かわかみ</sup>

理郎<sup>みちろう</sup>